

# 学習サポート & 自主学習支援がありました

2学期終業後の12月25日(木)、26日(金)に前期課程は学習サポート、後期課程は自主学習支援がありました。後期課程は、1月8日(木)、9日(金)にも自主学習支援を行いました。学習サポートは地域包括連携を結んでいる旭川市立大学から学生さんが、そして地域の方もボランティアで来て下さいました。子どもたちの質問に丁寧に答えながら、課題に取り組むのをサポートしていただきました。また、自主学習支援は、自ら学ぶ姿勢を培うことを目的に、冬休みの課題をはじめとして、取り組みたい課題を持ち寄り、お互いに解決し合ったり、黙々と取り組んだりする様子が見られました。短い時間でしたが、自分で学習する力が少しずつ育ってきているようです。



2月2日(月) スキー授業 (3・4年)

職員会議

交通安全街頭指導 (後期)

2月3日(火) スキー授業 (1年)、全校集会

職員会議

2月4日(水) スキー授業 (2年)

放課後パトロール

学力テスト (7・8年)

2月5日(木) 新入学保護者説明会

読み聞かせ (1・2年)

スキー授業 (7・8年)

2月6日(金) スキー授業 (5・6年)

委員会 (前期)

2月8日(日) 旭川高専一般入試

2月9日(月) スキー授業 (3・4年)

2月10日(火) スキー授業 (1年)

公立高校推薦入試

2月11日(水) 建国記念の日

2月12日(木) スキー授業 (2年)

2月13日(金) 私立高校入試

後期課程進級保護者説明会

2月18日(水) 児童会役員選挙

2月19日(木) 職員会議

学年末テスト (7・8年)

2月20日(金) 学年末テスト (7・8年)

2月23日(月) 天皇誕生日

2月24日(火) 前期課程集会

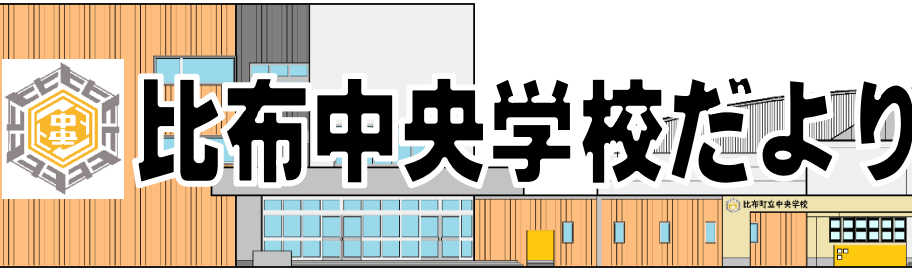
生徒会委員会

2月25日(水) 参観日④ (全学年懇談)

貯金日

2月26日(木) チャレスペ

学校運営協議会



## 折茂武彦さんの講話から

校長 杉 本 仁

暖かい日も多く、穏やかな天候の今年の冬と  
思っていましたが、先日は、気温が-20℃を  
下回り、道北らしい冬の厳しさを実感する今日  
この頃です。そんな中でも、スキー授業が始まり、  
どの学年も元気にスキー授業に行く姿が見  
られています。比布町の誇る素晴らしいスキー  
場で、スキーに親しむとともに、厳しい冬を楽  
しむことができる人に育ってほしいと思ってい  
ます。

12月の学校だよりでも少し紹介させていた  
だきましたが、1月21日(水)にレバンガ北  
海道の折茂武彦社長が来校してくださり、「心に  
響く道徳講話」として後期課程の生徒にお話を  
してくださりました。この後の学校だよりの記  
事でも紹介されていますが、私が心に残った言  
葉を以下に紹介したいと思います。

- 途中でやめたらとどり着けない。
- 0%じゃなければやってみたい。
- つまらない練習を一生懸命できるかどう  
かが大切。それが自分を助けてくれる。
- やってみて初めて答えがでる。
- 時間は限られている。しかし時間は皆に  
平等にある。
- 準備して臨めば結果はでる。準備しなか  
ったら、結果はそれなり。
- ポジティブに考える。ネガティブに考え  
て解決したことはない。
- 負けた時の方が成長できる。
- 睡眠の大切さ。今でも8時間は寝る。
- やっぱり気合と根性は大切。
- 大切なのは、「人」「信頼」「思い」。
- 利益よりも信頼をとる。
- 可能性を高めるためには、「行動」「挑  
戦」「継続」。
- 「応援される」「必要とされる」「感謝さ  
れる」人でありたい。チームでありたい。
- 「ありがとう」は素敵な言葉。

私は、折茂さんの試合を何度も会場で見させて  
いただいていたので(実は北海道に来る前「トヨ  
タ自動車」の選手だった時代の試合も見たことが  
ありましたし、折茂さんがMVPを獲得した北海  
道で行ったBリーグオールスターも会場で見  
ていました。)大変貴重な時間となりました。また、  
折茂武彦さんについて書かれている『弧を描く』  
という本の内容と重なる部分もあり、改めて説  
得力を感じながら聞かせていただきました。

紙面印刷

2026年(令和8年)1月27日(火曜日)



自身の体験を基に、どのよう  
に生きていくべきかを語り  
かける折茂武彦さん

### 夢への挑戦 生徒に訴え

比布レバンガ折茂社長が講演

【比布】プロバスケットボールBリーグ1部レバンガ北海道の折茂武彦社長(55)が、小中一貫の義務教育学校、町立比布中央学校で講演した。「夢をかなえるために」と題して、挑戦し続けること、失敗を恐れないことの大切さを訴えた。

町教育委員会(中)でつくる「君の夢プロジェクト推進協議会」の主催で、21日に実施した。

折茂さんは、現役時代  
に日本人選手初の国内ト  
ップリーグ通算1万得点  
を達成。同校の719年  
生計80人に対し「やり  
たいことを見つけ、自分  
のことは自分で決めてほ  
しい」と呼びかけた。

また「難しいのは継続  
すること。バスケットも練  
習しなければ成績が落ち  
ていく」と振り返った。

がん患者と家族  
犬から癒やしを  
来月9日、厚生病院  
旭川厚生病院は、がん  
患者と家族が犬と触れあ  
うアニマルセラピーを、  
2月9日午後2時半から  
同病院別館(旭川市2の  
24)で行う。

旭川を中心に活動する

↑ 1月27日(火) 北海道新聞

講演の中でも少し触れられていましたが、『弧  
を描く』という本には、北海道に来て、「北海道  
に来てくれてありがとう」と声をかけてもらっ  
たこと、チームの負けが込んでいても「北海道  
の人は、温かく応援してくれたこと」、北海道の  
バスケットボールに関わる方々の熱意、など  
「トヨタ自動車」所属時には感じなかった様々  
なものを感じたことが記されています。そして  
前身のチームが経営破綻した際に、何よりも  
「北海道にチームを残したい」と考えたこと、  
「誰もやらないなら自分がやる」と現役選手を続け  
ながら、チームの経営をする決断をしたことも書か  
れています。

折茂さんが、素晴らしい選手であったことは誰もが  
認めるところですが、上記のことと併せて考えると、左  
の「0%じゃなければやってみたい。」「やってみ  
て初めて答えがでる。」「ポジティブに考える。  
ネガティブに考えて解決したことはない。」「大  
切なのは、『人』『信頼』『思い』。「利益よりも信  
頼をとる。」「『応援される』『必要とされる』『感  
謝される』人でありたい。チームでありたい。」  
という言葉に、更なる重みを感じます。

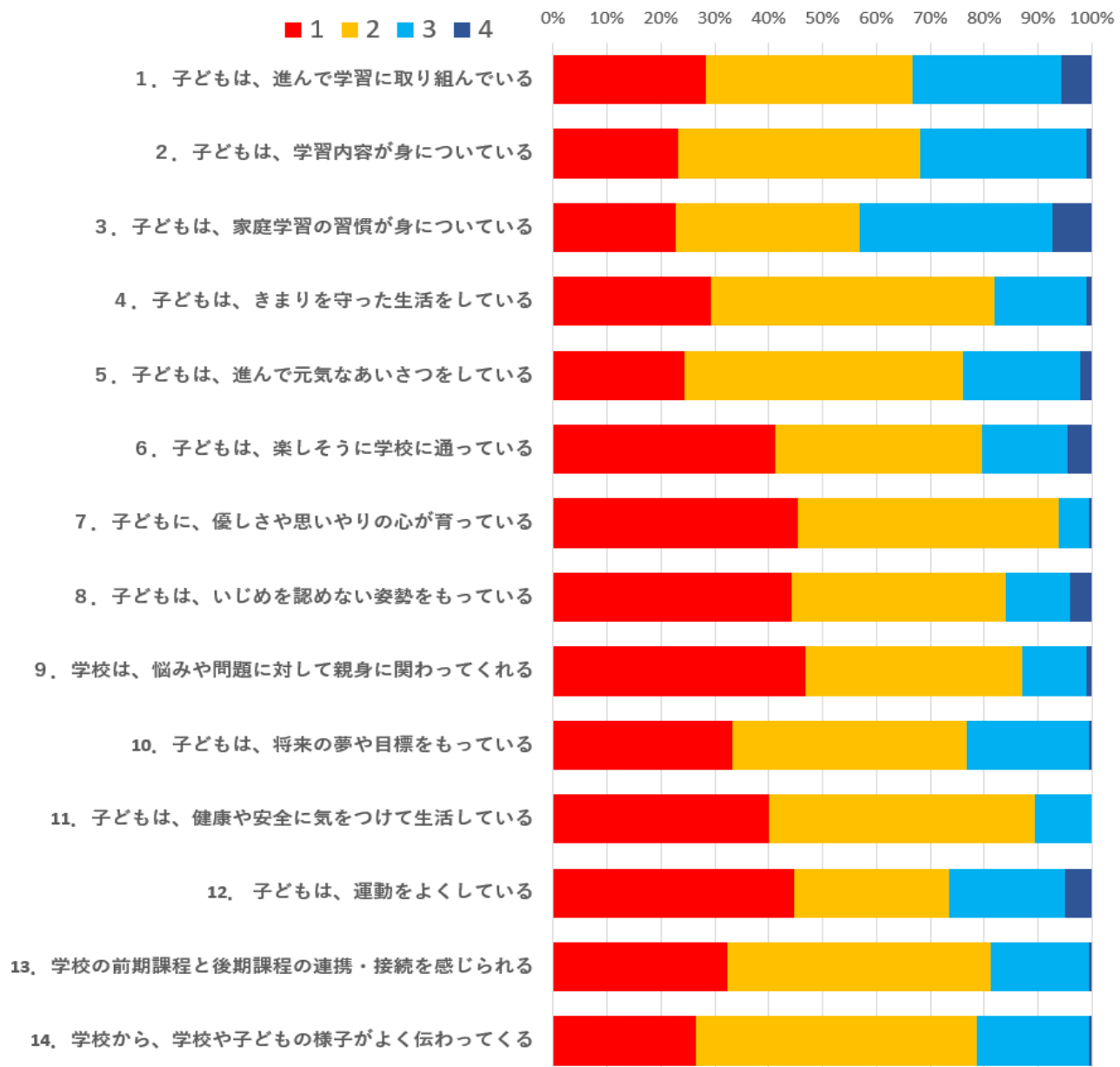
私自身、折茂さんのお話から1つでも2つでも  
実践していきたいと思っています。

# 比布中央学校の教育に関するアンケート結果について

2学期末に、保護者の皆様にご協力いただいた、今年度の比布中央学校の教育活動についてのアンケート結果をお知らせします。

全体を通して、良い評価（1・2）をいただいた項目が多くありましたが、学習に関する項目（質問項目1～3）については他項目よりも良い評価が少ない結果となりました。これらの項目については、改善策を検討し、次年度に生かしていきたいと思っております。

## 【アンケート項目について】 【1：そう思う/2：概ねそう思う/3：あまりそう思わない/4：思わない】



また、子どもたちへの関わりに関することや、環境のことなど様々なご意見もいただきました。さらに、温かいお言葉もいただき感謝しております。学校としても次年度に向けて検討をし、改善につなげていきたいと考えております。今後ともご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## スキー授業がスタートしました

1月22日(木)の1年生と9年生を皮切りに、今年度のスキー授業がスタートしました。後期課程はスノーボードを選択する子もいます。9年生は1回のみの実施となりますが、他の学年は2～3回、築山やぴっぷスキー場で授業を行います。町のシンボルでもある比布スキー場でスキーに親しみ、楽しく学習できるといいですね。



## 心に響く道徳講話

1月21日(水)に、心に響く道徳講話を実施しました。今年度は、レバंगा北海道の折茂武彦社長をお招きいたしました。「当たり前」の事を、「諦めず」に、「続けること」の大切さについて、ご自身の経験を元にお話をいただきました。折茂社長の生き方が、心に刺さった生徒も多かったようでした。また、後半は折茂社長、杉本校長、8年生の中野雄太さんによるフリースロー対決が行われました。結果は、折茂社長が全てのシュートを完璧に決めて優勝となりました。まさに有言実行の人でした。

